

定期作況報告

(平成26年7月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。

6月下旬：平均最高気温が23.0℃（対平年比+4.0℃）、平均最低気温は12.8℃（+1.8℃）と平年より高かったため、平均気温は17.7℃（+2.9℃）と平年より高かった。降水量は4.5mm(19%)と平年より少なかった。日照時間は94.3時間（177%）と平年より長かった。畑地温は13.8℃（+1.1℃）と平年よりやや高かった。

7月上旬：平均最高気温が19.6℃（-1.1℃）と平年よりやや低かったため、平均気温は16.1℃（-0.6℃）と平年よりやや低かった。降水量は19.0mm(76%)と平年よりやや少なかった。日照時間は33.5時間（76%）と平年よりやや短かった。畑地温は14.9℃（+0.4℃）と平年並であった。

7月中旬：平均最高気温が22.8℃（+2.7℃）、平均最低気温が16.1℃（+2.5℃）といずれも平年より高かったため、平均気温は18.8℃（+2.2℃）と平年より高かった。降水量は1.5mm(4%)と平年より少なく、日照時間は41.3時間（107%）と平年並であった。畑地温は16.5℃（+1.7℃）と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は17.5℃（+1.5℃）と平年より高かった。降水量の3旬の合計は25.0mm（28%）と平年より少なかった。日照時間の3旬合計は168.8時間（124%）と平年よりやや長かった。畑地温は15.1℃（+1.1℃）と平年よりやや高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、降水量が平年よりやや少なく、その他はいずれも平年並に推移している。

a. 気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	17.7	14.8	2.9	16.1	16.7	△ 0.6	18.8	16.6	2.2	17.5	16.0	1.5
平均最高気温（℃）	23.0	19.0	4.0	19.6	20.7	△ 1.1	22.8	20.1	2.7	21.8	19.9	1.9
平均最低気温（℃）	12.8	11.0	1.8	13.3	13.4	△ 0.1	16.1	13.6	2.5	14.1	12.7	1.4
降水量（mm）	4.5	23.6	△ 19.1	19.0	25.1	△ 6.1	1.5	39.6	△ 38.1	25.0	88.3	△ 63.3
降水日数（日）	2	4	△ 2	3	3	△ 0	2	4	△ 2	7	12	△ 5
日照時間（hrs）	94.3	53.3	41.0	33.2	43.7	△ 10.5	41.3	38.7	2.6	168.8	135.7	33.1
平均畑地温（10cm,℃）	13.8	12.7	1.1	14.9	14.5	0.4	16.5	14.8	1.7	15.1	14.0	1.1
最多風向	WSW			E			ENE					
平均風速（m/s）	2.3			2.5			2.2					

注1）平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2）平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3）降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4）△印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月21日～7月20日）

	平均気温 （℃）	降水量 （mm）	日照時間 （hrs）	畑地温 （℃）
本年	1,186	155	499	980
平年	1,072	208	442	886
比較	114	△ 53	58	94

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー

作況：やや不良

事由：1 番草乾物収量の平年比は92%とやや低く、乾物率は1.6%低かった。これは6月上旬の降水不足により、栄養生長が抑制された後、6月中旬の多量の降水により、水分含量が上昇したためと考えられる。2 番草の7月20日現在の草丈は平年より5cm高く、再生後の生育には問題は認められていない。

以上より、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

収 穫 期 (月・日)			収 穫 時 草 丈 (cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較
6.23	6.23	0	108	105	3

生草収量 (kg/10a)			乾 物 率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
3,522	3,463	59	16.7	18.3	△1.6	588	636	△48	92%

草 丈 (7月20日現在・cm)		
本年	平年	比較
42	37	5

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス (3 番草)

作況：やや不良

事由：6月下旬以降は降水量が平年より少なく推移したことから、生育が抑制され、草丈は平年より8cm低く、乾物率は1.0%高かった。乾物収量の平年比は86%であった。

以上より、目下の作況はやや不良である。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
32	40	△ 8

生草収量 (kg/10a)			乾 物 率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
755	943	△188	18.3	17.3	1.0	138	161	△23	86%

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。